

# 日本民俗学会 第 73 回年会 横浜

## 第 1 回 サーキュラー

ワクチン接種が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の先行きがなかなか読めない状況の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。5月9日に開催された理事会での検討の結果、予定通り「日本民俗学会第73回年会」を開催することといたしました。本年は今年4月に開設した横浜市神奈川大学みなとみらいキャンパスを会場とし、年会全体のテーマを「海が結ぶ日本と世界」といたします。しかし、今後の感染症における状況によってはオンラインでの年会開催となることもありえます。この点につきましては変更があり次第、今後のサーキュラーや学会ホームページなど、しかるべき手段を通じてお知らせいたします。

研究発表につきましては、多様なご発表を歓迎いたしますので、以下の要領をご参考に、みなさま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本民俗学会 第33期会長 川島 秀一

**主 催** 一般社団法人日本民俗学会

**協 力** 神奈川大学

**期 日** 2021年10月9日(土)・10日(日)

**会 場** 神奈川大学みなとみらいキャンパス(横浜市西区みなとみらい4-5-3)

### 会場アクセス

みなとみらい線みなとみらい駅下車徒歩約6分。

JR・東急東横線・相鉄線・横浜市営地下鉄線横浜駅下車徒歩約11分。

JR・横浜市営地下鉄線桜木町駅下車徒歩約12分。

※神奈川大学ウェブサイトでみなとみらいキャンパス交通アクセスのページをご参照ください。<http://www.mmc.kanagawa-u.ac.jp/>

なお、実行委員会では宿泊等の斡旋は行いません。(情報は第2回サーキュラーで送付)

### 年会事務局

〒221-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3

神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科 小熊研究室気付

日本民俗学会第73回年会実行委員会事務局

電話 045-664-3710 (代表)

※学内での郵便事故に備え、上記宛名は省略せずにお書きください。

連絡はなるべく E-mail でお願いします。

E-mail: minzokunenkai73@gmail.com

## 開催方法

神奈川大学みなとみらいキャンパスでの対面開催を予定していますが、オンライン開催となる可能性もふまえ、本サーキュラーでは両パターンのプログラムと参加費をご案内いたします。対面開催になるかオンライン開催（Zoom 開催もしくはオンデマンド開催）になるかは、7月にお届けする第2回サーキュラーおよび年会ホームページでお知らせいたします。

また、評議員会および総会の開催日時、方式につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に応じて変更する可能性があります。こちらも第2回サーキュラーなどで改めてご案内いたします。

## 対面開催の場合

### ・プログラム

#### 10月9日(土)

9:00～9:30	理事会
9:45～12:00	評議員会
12:00～	会員受付開始
13:00～16:00	公開シンポジウム 「海が結ぶ日本と世界－渋沢敬三と日本常民文化研究所－」
16:15～17:50	研究奨励賞受賞式・会員総会

#### 10月10日(日)

9:00～	受付開始
9:30～12:00	研究発表(午前)
12:00～13:00	昼食
13:00～16:30	研究発表(午後)

### ・参加費（資料代を含む）

	前払い（8/27 締切）	当日
会員(一般)	4,000 円	5,000 円
会員(学生)	2,000 円	3,000 円
非会員(一般)	—	5,000 円（当日受付のみ）
非会員(学生)	—	3,000 円（当日受付のみ）

## オンライン開催の場合

### ・プログラム（Zoom 開催の場合）

#### 10月9日(土)

13:00～16:00	公開シンポジウム 「海が結ぶ日本と世界－渋沢敬三と日本常民文化研究所－」
-------------	---

## 10月10日(日)

9:30～12:00	研究発表(午前)
12:00～13:00	休憩
13:00～16:30	研究発表(午後)

※理事会、評議員会、会員総会については、第2回サーキュラーで連絡します。

### ・参加費（要旨集代を含む）（8/27 締切）

会員（一般） 3,000 円      （学生） 1,500 円

※ 今年度の年会は、見学会を企画しておりません。

※ 開始・終了時刻は現時点での予定です。

※ 発表プログラムは 9 月中旬に参加等申込者に送付する第 3 回サーキュラーでお知らせいたします。

### 参加費の払い込み

※ 対面式・オンライン式のどちらの場合も、参加費の金額は現時点での目安です。第 2 回サーキュラーにて開催方法とともに金額を決定いたしますので、ご注意ください。

※ 会場の神奈川大学みなとみらいキャンパスの近くには飲食店があります。大学内の食堂は土曜日に開店しております。日曜日には閉店していますが、近くの飲食店などで食事が可能です。そのため、お弁当は用意いたしません。

※ 年会開催が可能であっても、懇親会が開催できるかどうか不明です。したがって、懇親会参加費は徴収いたしません。万が一開催可能な場合は、当日徴収とします。

※ 対面開催参加費の納入期限は 8 月 27 日(金)です。期日にて振込み口座を閉鎖いたしますので、それ以降は年会当日に当日料金でお支払いください。

※ オンライン開催参加費の場合も、納入期限は 8 月 27 日 (金) までとします。

※ 一度納入いただいた参加費等はいかなる理由があっても返却いたしません。あしからずご了承ください。

※ 納入方法は、7 月下旬に参加等申込者に送付する予定の第 2 回サーキュラーにてお知らせいたします。

### 参加・発表申し込み

・参加・発表を希望される方はオンライン申し込みフォームよりお申し込みください。

「日本民俗学会ウェブサイト」(<http://www.fsnet.jp/>)→「日本民俗学会第 73 回年会ウェブサイト」→「参加・発表申し込み」の順にお進みください。

・オンラインでのお申し込みは 2021 年 6 月 28 日 (月) 23:30 までに送信してください。

- ・オンライン申し込みをご利用いただけない場合は、同封の返信用葉書に記入し、切手を貼ってご投函ください。期限は 2021 年 6 月 28 日(月)必着とします。
  - ・参加・発表の申し込みはオンラインか返信用葉書かのどちらか一方でお願いいたします。できるだけオンラインでの申し込みをお願いいたします。
  - ・所属の記載方法については日本民俗学会ホームページの「定款・規定等」に掲載されている「一般社団法人日本民俗学会会員の属性、帰属意識の多様性の尊重に関する声明」をご参照ください。[http://www.fsjnet.jp/information/regulations/diversity\\_2014-0713.html](http://www.fsjnet.jp/information/regulations/diversity_2014-0713.html)
- ※ 返信用葉書を住所変更通知など年会業務とは無関係の連絡には使用しないよう、お願い申し上げます。

※お送りいただいた個人情報については、第 73 回年会に関わる事務においてのみ使用し、別の用途に使用することはありません。

※第 2 回以降のサーキュラーは参加等申し込みをされた方のみにお送りいたします。サーキュラーは年会ウェブサイトにも掲載します。

## 研究発表形式

### 一般発表

- ・発表 20 分・質疑応答 5 分・移動 5 分を 1 ユニットとします。
- ・一般発表を行う方はオンラインもしくは同封の返信用葉書にてお申し込みください。
- ・発表内容は日本民俗学会および関連する諸学会等において、未発表のものに限ります。重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りします。
- ・対面開催の会場における備え付けの機材は PC(Windows) と PC 用プロジェクターです。機材の使用を希望される方はオンライン申し込み画面または返信用葉書の所定欄にチェックをしてください。
- ・発表は日本語でお願いします。

### グループ発表

- ・統一テーマのもとで 4 名以上の発表者からなるグループ発表を受け付けます。うち 1 人をグループ発表の代表者としてください。
- ・グループ発表の場合、代表者の方だけでなく、その他の発表者の方も「研究発表申し込み」を行っていただきます。オンラインもしくは同封の返信用葉書にてお申し込みください。
- ・グループ発表の時間枠は 120 分となります。枠内の時間配分は代表者にお任せいたします。
- ・グループには適宜、司会を設定していただくことができます。司会自体の登録は必要ございませんが、プログラムへの記載もいたしません。なお、学会側からの座長の配置はいたしません。

・グループ発表で使用できる機材は一般発表に準じます。

※ 個人発表とグループ発表、両方での発表はできません。

※ 発表要旨は年会より前(9月)に年会ウェブサイト上にて PDF ファイルで公開します。年会終了後も当分の間、掲載を続けます。

### 発表資格

・第73回年会における発表資格条件は、2021年5月末日時点で2021年度の会費を納入済みの会員および名誉会員です。

※ 新入会員については、2021年5月9日開催の理事会で入会を承認されている必要があります。

・期限(8月27日(金))までに年会参加費の納入および発表要旨の提出がない場合、発表は自動的にキャンセルとなりますので十分ご注意ください。

### 出張依頼書

出張依頼書は、年会実行委員会ホームページに掲載しますので、そこからダウンロードしてお使いください。

### 託児室の申込み

対面開催となった場合、会場には託児室を設置する予定です。会員の方が会場で託児室の利用を希望される場合、年会参加申し込み時にその旨ご連絡ください。具体的な申し込み方法は、第2回サーキュラーにてお知らせいたします。ただし、オンライン開催の場合は設定いたしません。

### 書籍販売の申込み

会員および出版社の方が会場で書籍の販売を希望される場合、年会ウェブサイトに掲載する「書籍販売登録票」にご記入の上、8月27日(金)までに年会事務局宛に申し込んでください。具体的な申し込み方法は第2回サーキュラーにてお知らせいたします。ただし、オンライン開催の場合は設定いたしません。

### 今後の日程

オンライン申し込み期限 6月28日(月)23:30

返信用葉書郵送期限 6月28日(月)必着

第2回サーキュラー 7月発送予定(参加等申し込みの方のみ)

内容:年会の開催方法、参加費等納入方法、その他年会参加に関する連絡事項、発表要旨の提出方法、発表要領、託児室の利用について、書籍販売申し込み要領、出張依頼状(希望者のみ)

参加費等納入期限	8月27日(金) これ以降は当日料金になります。
発表要旨提出期限	8月16日(月)
書籍販売申し込み期限	8月27日(金) 書籍販売登録票提出
第3回サーキュラー	9月中旬発送予定(参加等申し込みの方のみ)

内容: 会場案内、発表要領、各発表会場プログラム

## 公開シンポジウム

### 「海が結ぶ日本と世界－渋沢敬三と日本常民文化研究所－」

#### 主旨

維新以来、横浜の地は日本を代表する海外への窓口となってきた。クルーズ船来航に始まるパンデミック、コロナ禍は、黒船来航による攘夷から開国へ、渋沢栄一の生涯を描く「青天を衝け」の日本から世界を、世界から日本を見る主題にも重なる。その意を継ぐ栄一の孫、渋沢敬三も早くから海、海外から見た日本を意識し、設立したアチック・ミュージアムの調査・研究活動の一つの目標にした。いずれにしろ、ヒト・モノ・情報が地域を超え、また瞬時に行き交う今日の国際化、情報化社会において、日本民俗学も一国民俗学から柳田国男が念願した世界民俗学への視野の拡大が求められる。渋沢敬三とアチック・ミュージアム、その後身、日本常民文化研究所の活動の足跡からその可能性を探り、21世紀の民俗学の在り方を会員のみならずとも共に考える機会としたい。

**日時** 2021年10月9日(土) 13:00~16:00

**会場** 神奈川大学みなとみらいキャンパス(横浜市西区みなとみらい4-5-3)

#### パネリスト等

司会 山本志乃(神奈川大学)

主旨説明 佐野賢治(神奈川大学名誉教授)

#### パネリスト

安室 知(神奈川大学)

藤川美代子(南山大学)

飯田 卓(国立民族学博物館)

加藤幸治(武蔵野美術大学)

#### コメンテーター

松田睦彦(国立歴史民俗博物館)

後藤 明(南山大学)

## プレシンポジウム（日本民俗学会第 916 回談話会）

### 「海が結ぶ日本と世界－横浜から考える越境と接触の民俗－」

#### 主旨

横浜が 1859 年に開港してから、162 年経つ。半農半漁村の横浜が、外国への窓口である国際港湾都市として多くの人が集まって都市コミュニティを形成してきた。ここに住むのは、異質で多様な人びとである。

横浜には、西洋商人に付随して来た中国人が横浜新田の埋め立て地に移り住み、中華街を形成した。華僑・華人は外国人として住みながら、日本人と共同生活を送り、日本人とつながりを持って生活してきた。華僑・華人は、彼らの墓地である中華義荘に地蔵堂を建て、さらに日本の民俗である水子供養を取り入れた。

横浜の京浜工業地帯に隣接した鶴見区に、沖縄出身者が多く住んでいる。そこには、沖縄鶴見県人会館があり、そこを中心に新年会や運動会、エイサーなどが行われている。その地域にある小学校を会場に、沖縄角力大会が行われてきた。大相撲とは異なる取り組みで行われる沖縄角力大会が戦前から行われ、現在では中国のモンゴル民族や南米からの移民が参加する。

横浜港から移民船で多くの日本人がブラジルに移民した。サンパウロの一角に、多くのアジア人が居住して東洋人街を形成した。そこには、多くの日本料理屋、日系ホテルや日本仏教寺院さらに仏具店も存在する。そこで行われる移民による「花祭り」や「七夕祭り」など、日本の民俗が海を越えて新たな民俗として創造される。

現代の民俗は、人びとの移動とともに地域を越境し、国を越境して異なる人びととの文化接触を繰り返しながら民俗を生み出していく。横浜から現代における民俗の多様性を多角的に見ていく。

**日時** 2021 年 9 月 12 日（日）13:30 ～ 17:00

**会場** 神奈川大学みなとみらいキャンパス（横浜市西区みなとみらい 4-5-3）予定  
オンライン併用予定

#### パネリスト等

趣旨説明 小熊 誠（神奈川大学）

報告 郭立東（東京大学人文社会系研究科）

「横浜華僑婦女組織と水子地蔵像の造立をめぐる」

小熊 誠（神奈川大学）

「移住するという事－横浜で行われる沖縄角力－」

根川幸男（国際日本文化研究センター）

「越境する都市祭礼－ブラジル・サンパウロ東洋街という時空から－」

（仮題）

コメンテーター 阿南透（江戸川大学）ほか